

# アジア・アジアパラ競技大会に関する懇談会 2022年11月21日資料

藤田紀昭(日本福祉大学)

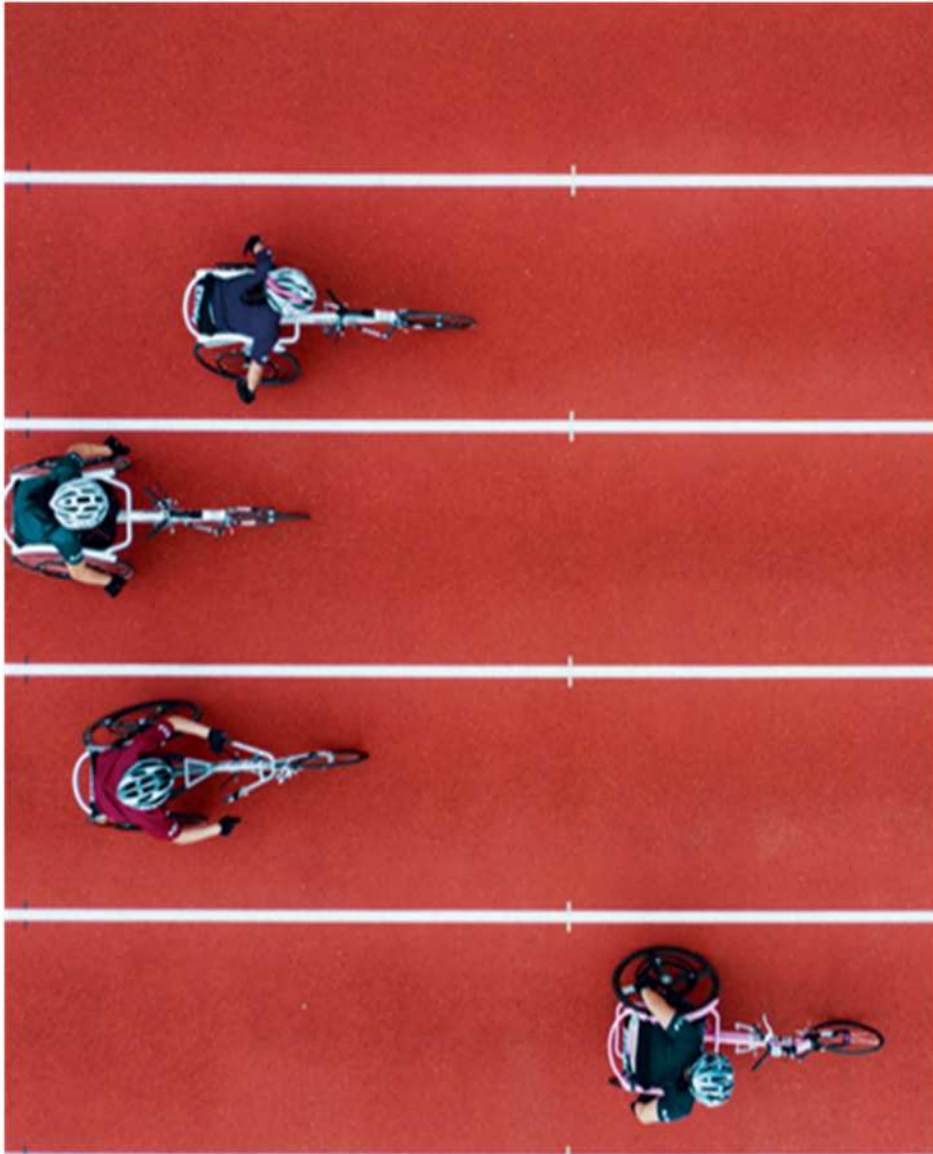


# スポーツの力

- 近代社会は平等な競争を肯定し、勝利することに価値をおく社会。類似した特徴を持つスポーツはその中で発展⇒スポーツにおける勝者に価値を置くことで、人々を選別する可能性。
- これに歯止めをかけることができるのが、最後まで力を出し切って競技した相手を勝者と敗者の立場を越えて互いに称えあう**スポーツパーソンシップ**。
- **困難に挑戦し、力を出し切り、互いにリスペクトし合うことが競争の前提。**
- 厳しく、激しい競争が戦争や喧嘩とは違う人間的であり、文化的なものであること条件。



# 多様性と調和／ダイバーシティ&インクルージョン



- 2020オリ・パラ大会ビジョン「スポーツには世界と未来を変える力がある」。基本コンセプト「全員が自己ベスト」、「多様性と調和」、「未来への継承」。
- つきつめれば「誰でもがそこに存在でき、その理由や意味を問われない」社会。
- 何かを理由排除するのではなく、受け入れる方向にベクトルを向けておく必要性。
- そこに生じるせめぎ合いと議論を厭わないことが共生社会を実現のプロセス。

# アジア大会・アジアパラ大会への期待

- 不寛容、対極化・対立、コロナ禍による分断、戦争といった言葉で形容できる現代、困難に挑戦し、力を出し切り、**勝敗と国を越えて互いにリスペクトし合う姿を示せる貴重な機会**。アジア大会・アジアパラ大会ともにその力を持つ。
- **あたりまえのように**アジア大会の後にアジアパラ大会が開かれること自体、大きな意義。
- 多様な人々、国々が存在し、そこにいる理由を問われることなく(クラス分け制度などの工夫により)、競技している姿は**共生社会のモデル**となる。
- とりわけ、子どもたちがそうした姿を生で見る機会**は貴重**。

